

■ モモエの小さな幸せ

～ 効果不明な懺悔活動 ～

今月は、ボランティアをテーマにしてみようと思います。
ダメ人間な私は、ボランティアなど人様のことを考える余裕がなく、自分と家族の世話で手一杯。むしろ、それすら満足にできていません。ボランティアは余裕のある高貴な人がするものと思い込んでいました。そんな私が、娘の小学校でボランティアをしています。

ボランティアの内容は、本の読み語りと見守りサポーターです。
子供たちのためという立派なものではなく、娘へのザンゲ活動です。
私は、3秒で寝るので、娘に「3秒オバケ」と言われています。

当然、寝る前に絵本を開くとタイトルで寝てしまい、本文にたどりつきません。何かいい方法はないだろうか？と考え、朝時間の絵本の読み語りボランティアに申し込みました。

見守りサポーターの内容は、教室に入れない子供に寄り添ったり、低学年の着替えや図工などの片づけ、高学年は、調理実習やミシンやアイロンを使う際に見ているものです。先生の猫の手にはなれないけれど、少しは役に立つというものです。

このボランティアは「自分の好きな時間に行ける」ところが魅力です。時期によっては娘が寝てから帰り、家で仕事をすることもあり、娘との時間がうまくとれません。そんな時に、仕事の合間に無理やり抜け出して、学校に行って娘の顔を見て「関わった雰囲気全開」にすることができます！「ママ、この後、仕事に戻ります！今日、遅くなるのでヨロシク！」と声をかけて帰ります。娘はハイハイと何も言いませんが、周りの子供たちは「ももえちゃん、もう帰るの？仕事辞めてもっといてよ～」と毎度言われます。めんごいばかりです。

見守りサポーターは、地域の人が学校に入って活動するので、他の学校ではなかなか定着しないようです。娘の小学校は、県内でも珍しいケースのようで、他の小学校から見学に来たり、事例発表もしているようです。

いい活動なので機会があれば、活動内容をお知らせできたらいいなと思います！

改めて、「地域で子供を育てる」ことを再認識し、自分のできることを少しずつできたらいいなと思う今日この頃です。



■ ROKENミニ情報

— 研修予告&相談窓口対応者のケア —

7月後半から新人研修をされる企業様があります。新入社員研修は春が多いのですが、夏から秋にかけて実施される企業様も一定数あります。秋口にされるメリットは、春は様々な研修や行事があること、既存社員も忙しいことが多く、新人が抜ける負担も大きくなることがあげられます。

仕事や環境に少し慣れて課題が見えてきたところで実施する研修もまた効果的です。



最近、職員から研修内容についてリクエストがありました。追加オーダーは「ハラスメントハラスメント」です。

ハラスメントハラスメント（ハラハラ）とは、自分に向けられた一般的な会話や正当な注意などを「ハラスメント（嫌がらせ）だ」と捉えて過剰に反応する行為のことです。

職員はお客様からのリクエストがあったわけではなく、訪問してお話している中で感じたのだそうです。総務担当者が、職場環境やハラスメントの相談窓口になっていることが多いと思います。その中で、「言いたいだけ」や「自分はさておき、相手を悪く言う」相談があり、聞く方がストレスになり、疲弊しているとのことでした。研修の内容に組み入れて、本人のわがままの相談を減らしてあげたいとのことでした。現場からの声は大切です。さっそく取り入れてみようと思います。まずは、この後実施される新入社員研修で取り上げてみようと思います。

ハラスメントを受ける人だけでなく、その話を聞く相談対応者のケアが必要と思われます。ぜひ、声掛けして確認してみてください！